

# 多様な力でつながる人づくり

## 目指す姿

- ◆ 地域に愛着や誇りを持つ人たちの一歩踏み出すためのチャレンジが次々と起こり、共感の輪が生まれています。また、地域に根差したリーダーが育ち、多様な人材のネットワークによって、地域資源を生かし、新たな価値を生み出す主体的な活動が展開されるとともに、地域の価値に共鳴する人たちの外部からの移住が進んでいます。こうした中で、コミュニティの力の再生に向けて、誰もが必要に応じて活躍の機会を得られる地域運営の新しい仕組みが構築され、地域の課題解決につながるモデル的な取組が始まっています。
- ◆ また、地域の資源と呼べるスポーツを通じて、地域ならではの特色を生かした取組が始まり、参加や交流を通じて、自らの地域に愛着や誇りを持つ人々が増え、地域アイデンティティが高まってきています。
- ◆ さらに、次代を担う子供たちには、学校と地域が連携して、未来を創る人材としての資質や能力を伸ばす機会が確保され、地域に誇りを持ち、将来の担い手として育成される環境が整いつつあります。

## これまでの主な取組成果

協働・連携 ・交流	● 若手リーダーの発掘・育成	✓ ひろしま「ひと・夢」未来塾の開講(H27～ 186人) ✓ さとやま未来博2017(参画者 13,576人)
	● 人材プラットフォームの構築	✓ 「ひろしま里山・チーム500」設立(H28～ 345人)
	● 首都圏からの人材確保	✓ ひろしま里山ウェブ(H27～ 204人, 11市町参加 )
移住・定住	● 移住相談窓口の開設	✓ 「ひろしま暮らしサポートセンター」開設(H26～ 有楽町) ✓ 移住希望地域ランキング 2位(R1)
	● 広島らしいライフスタイル発信	✓ 移住ポータルサイト「HIROBIRO」による情報発信(H27～)
	● AIを活用した相談システム構築	✓ 「あびいちゃん」の試験運用開始(R1.11～)
教育	● 地域の次代を担う人材の育成	✓ 地域に貢献しようとする意欲を持っている中山間地域の県立高校の生徒の割合(H27:48.1% ⇒ R1:62.7%)

協働・連携・  
交流

(1) 多様な主体による自主的・主体的な地域づくり

移 住

(2) 若い世代を呼び込む地域環境の創造

教 育

(3) 地域を誇り未来を創る人材を育てる教育

## 現状と課題

- 本県の中山間地域の集落は、全国に比べて、小規模化や高齢化が大きく進み、地域活動の担い手が不足する中で、草刈・清掃などのコミュニティで行う共同作業や地域に根差した伝統行事等の活動が困難な集落が増加してきています。こうした活動は、地域を運営する機能としてだけでなく、世代を超えた多様な人々が絆を深める場としても貢献しており、引き続き地域の推進役となるリーダーの発掘・育成やネットワーク化によって、地域のつながりや連帯感を醸成していく必要があります。また、人口減少下にあっても地域を支えていけるコミュニティの力の再生に向けて、地域に住む人たちを専らサービスを受ける客体と捉えるのではなく、ともに支え合い、地域の未来をつくる存在と捉え、それぞれの実情に応じて、その主体性が発揮される多様な地域運営の仕組みを構築していく必要があります。
- また、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした海外選手の事前合宿の受入れや国際的なスポーツ大会の誘致などを通じて、スポーツへの関心が高まってきていることから、こうした機運を捉えて、スポーツを地域振興に生かしていこうとする地域の主体的な取組を効果的にサポートしていくことが求められています。
- さらに、人口減少が加速する中山間地域においては、次代を担う子供たちが、地域に誇りを持って、新たな担い手として活躍していくことが求められます。このため、子供たちが地域との関わりを通じて、生まれ育った地域への深い愛情や誇りを持ち、自らの創造力や行動力で、これからの時代を切り拓いていく力を身に付けていけるよう、引き続き、地域と連携した教育活動を展開していく必要があります。
- また、東京圏で高まりつつある若い世代を中心とした地方移住への機運を取り込むため、広島らしいライフスタイルの魅力発信などに取り組んできた結果、令和元（2019）年は移住希望地域ランキング（認定NPO法人ふるさと回帰支援センター公表）で全国2位となりました。こうした中で、近年のデジタル化の進展や働き方改革などを通じた価値観の変化を踏まえ、本県の中山間地域が幅広い層から移住先として選ばれるよう、受入態勢などの一層の充実を図り、広島へのより大きな移住の流れを作り出していく必要があります。

## (1) 多様な主体による自主的・主体的な地域づくり

### ポイント

#### ◆ 地域における《つながり力》の強化と人材の育成・ネットワークづくり

- 地域社会やコミュニティの中で、人と人がつながり、支え合う価値を大切にするため、地域における多世代のつながりや交流を促進するとともに、多様な主体が連携・協働して支え合える地域づくりを進めます。また、地域への愛着や誇りの醸成に向けて、地域において一歩前に踏み出すための様々なチャレンジを行っている人たちの活動を地域全体で後押しし、共感の輪を広げていくための取組を推進します。
- 地域づくりのフィールドワークやノウハウを学ぶ人材養成塾などを通じて、地域に根差した活動やコミュニティビジネスなどに取り組む人材の裾野を拡大し、中山間地域の将来を担うリーダーを育成します。
- こうした意欲ある実践者を中心とした人材プラットフォームを基盤として、里山・里海の豊かさを継続的に発信するとともに、その価値に共感し、地域と多様な形で関わる首都圏等の関係人口を拡大していくことによって、中山間地域を内外から支える人材の広域的なネットワークづくりを進めます。
- また、活力あるコミュニティが人々の学習を支え、人々の学習がコミュニティを形成・活性化させるという好循環の確立に向け、公民館や図書館等の社会教育施設を拠点として、地域の学びを支える人材を育成します。

### ポイント

#### ◆ 持続可能な地域運営の仕組みづくり

- 人口減少下にあっても、地域に住む人々が、一人ひとりの不安に寄り添い、それぞれの実情に応じて、主体性を発揮しながら地域づくりに参画できる最適なコミュニティの在り方を検討し、市町と連携して、日常生活の安心につながる持続可能な地域運営の仕組みづくりに取り組む地域を後押しします。
- また、住民の抱える課題に的確に対応するため、多様な主体が連携・協働した、共助による支え合いなどの取組を進めるとともに、地域のリーダーや専門人材等が連携して課題を早期に発見し、解決につなげるための取組を後押しします。

### ◆ スポーツを通じた地域活性化

- スポーツには、健康や体力の維持・増進だけでなく、地域の方々が参加や観戦、交流など様々な形で関わることにより、地域に一体感や活力を醸成する力があります。また、特色あるスポーツを地域づくりに生かすことによって内外からの関心が高まれば、地域ならではの強みとなり、そこに住む方々の誇りや愛着、地域アイデンティティの醸成にもつながります。
- 県内には、地域の資源と呼べるスポーツがありながらも、それを地域振興に十分に生かしきれていない地域や、これから新たにスポーツによる地域活性化を目指そうとしている地域もあります。
- そのため、その両方を併せて、今後、スポーツの可能性を地域振興に生かしていこうとする地域の主体的な取組を尊重しつつ、スポーツアクティベーションひろしま（SAH）が中心となって、県内市町の取組に対して、ノウハウや人脈の提供、財政的支援を行います。
- また、「する」「みる」「ささえる」といったスポーツへの多様な関わり方を促すため、関連情報の発信に取り組む市町や民間・関係団体を支援します。さらに、都市公園における県有スポーツ施設等を活用することにより、スポーツを通じた活力ある地域づくりや都市との交流等を推進していきます。

### ▶ 優れた文化遺産や伝統文化等に触れる機会の充実

- 中山間地域において受け継がれてきた文化遺産や伝統文化を守り、広く発信することで、地域外の人々との交流を通じて、地域への愛着・誇りが形成される環境づくりを推進します。
- 県民の文化・芸術活動の発表の場を通じて、地域の文化活動の継承や活性化を図り、都市も含めた地域間の交流等を進めていきます。

## (2) 若い世代を呼び込む地域環境の創造

### ポイント

#### ◆ 東京圏等からのUターン等の促進

- 新型コロナの影響下におけるテレワークの普及等により、職場に縛られない働き方が増加し、長時間の通勤や密な職場、狭隘な居住環境といった、東京圏等におけるこれまでの働き方や暮らし方の常識が見直されています。また、ライフスタイル全体を生涯にわたって大切にする価値観が広がり、その実現に適した地方への移住に関心が高まっています。
- このような状況の中、今後の新たな移住は、自己実現に適した働き方や自分らしい生活が実現できる、高い水準でバランスがとれた暮らしの環境を提供していく必要があります。都市に近接して広がる里山・里海など本県の地域特性を生かして移住ニーズを取り込んでいくことが重要です。
- このため、東京圏等から広島へのUターン等の促進に向けて、デジタルマーケティングや各種SNSを有機的に活用し、様々な新しいニーズに応じて、広島らしいワーク・ライフスタイルの魅力発信を行います。また、従来の対面相談や移住イベントに加え、AIを活用した相談対応やオンラインイベントを通じ、より多くの移住希望者と地域の人材・企業とのマッチングを図るとともに、地域での暮らし方や働き方をサポートするコーディネーターによる地域情報の発信やマッチングの取組を積極的に後押しします。

### ポイント

#### ◆ 地域特性を強みとして生かした受入態勢の強化

- 「都市と自然」が近接した本県ならではのゆとりある居住環境を強みとして、コロナ禍で過度の人口集中によるリスクが顕在化した東京圏から、中山間地域への人材の誘致拡大を図るため、民間と連携した空き家の掘り起こしや流動化、空き家バンクを活用した空き家や魅力あるライフスタイル事例の情報発信、半農半X<sup>\*</sup>等の多業を实践できる魅力的なフィールドとしての農地付き空き家や地域における仕事の紹介、二地域居住者のための低廉な住宅管理サービスの創出など、市町の特長や地域資源の価値を生かした受入態勢の一層の充実・強化を図ります。

※ 例：半農半カフェ、半農半神楽、半農半アート、半農半ITエンジニアなど

### (3) 地域を誇り未来を創る人材を育てる教育

#### ポイント

##### ◆ 地域の次代を担う人材の育成

- 子供たちが、地域との関わりを通じて、地域への愛着や理解を深め、自信を持って地域を語り、次代を担うリーダーとして活躍できるよう、各学校における地域の特色を生かした教育活動を支援します。

#### ポイント

##### ◆ 地域の内外から選ばれる魅力ある学校づくり

- 豊かな自然などの都市部にはない環境を生かした教育の推進など、中山間地域の学校が、地域と連携しながら、内外から選ばれる魅力ある学校となるために実施する特色づくりを支援します。
- また、地理的な条件や学校規模に捉われることなく、地域を越えた相互交流や多様な学びの選択肢を提供できるよう、各学校におけるデジタル技術の活用を推進します。

#### ポイント

##### ◆ 里山・里海体験の推進

- 里山・里海が持つ豊かな資源や魅力を生かした多様な体験活動の推進を通して、児童の主体性や社会性などを育むとともに、体験先の地域の人々や学校との交流を通じてコミュニケーション能力などを高め、豊かな心とたくましく生き抜く力を育てます。





# 活動

多様な力でつながる人づくり

# 事例





## 江田島市 で活躍しています！

### 島内外をつなぐ「縁」づくりの拠点 《後藤 峻さん》

地域おこし協力隊だった平成29(2017)年に旧沖美町の市有施設をコミュニティスペース「フウド」にリノベーションし、館長として運営を行っています。コワーキングスペースを備え、地域交流促進や移住・定住支援などに取り組んでいます。

また、「えたじまSUP」として、SUPを通じた観光アクティビティコンテンツ作りも行っています。



Point !

「フウド」とは、「風海土」と書き「風(外の人)」が、「海」を渡り、「土(地の人)」と交わる場所を意味します。コワーキングスペースや交流イベントなど、様々な仕掛けで島内外の人がつながる、そんな場所にしていきたいと思っています。

#### 【主な取組】

- コミュニティスペース「フウド」の運営  
〔 地域内外の方の交流イベント  
移住相談・空き家紹介  
チャレンジキッチン など 〕
- SUPのインストラクター

## 安芸太田町 で活動しています！

### 三段峡を守り、次の100年へバトンをつなぐ 《本宮 炎さん》

令和7(2025)年に名勝指定100周年を迎える三段峡を次の100年につなぐために、「三段峡野外博物館」プロジェクトの実施や、「さんけん新聞」の発行などを通じて、環境保全や歴史文化の伝承、人材育成に取り組んでいます。「調べる・伝える・繋げる」をキーワードに活動し、より多くの方に三段峡の自然資源と関わってもらえるよう、行政や民間企業とも積極的に連携しています。



Point !

「三段峡野外博物館」は、三段峡を美しい山水画の美術館や豊かで特徴的な生態系の博物館として見つめ直していくプロジェクトです。教育プログラムを通じて、三段峡を「観光地」から「体験と学びの場」へと発展させています。

#### 【主な取組】

- 特定認定NPO法人三段峡-太田川流域研究会での活動  
〔 環境保全活動  
環境教育プログラムや企業研修の企画・運営  
地域のコミュニティづくり など 〕

## 北広島町 で活躍しています！

### 「もんぺる」で里山を愛する人の輪を広げる 《河野 弥生さん》

着なくなった古い着物を「もんぺ」にリメイクし、里山ならではのスタイルを発信する「もんぺる」の活動を通じて、あるものを生かして新しい価値を生み出す「持続可能な地域づくり」を実践しています。

「もんぺ」ファッションショーを開催するなど、人と人が出会い、新しい「コト」が生まれていく「ときめき」を大切に、地域を楽しくしていきたいと思っています。

#### 【主な取組】

- 「もんぺる(mont-pell)」の運営
- 芸北せどやま再生プロジェクト
- 芸北茅プロジェクト
- 勿体無ズ  
(空き家対策やごみを減らすリサイクルマーケットの取組)



Point !

※河野 弥生さん(写真右から2人目)

「もんぺる」の活動は、「ひろしま さとやま未来博2017」で、地域ならではの多様な資源を生かして、新しい価値やサービスの提供につながる優れた取組として、「さとやま未来大賞」を受賞しました。

## 大崎上島町 で活躍しています！

### 地域に再びあかりが灯るゲストハウス 《松本 幸市さん》

大崎上島町に生まれ、就職を機に島を出るも24歳でUターンし、学校職員として働いていました。そんな中、過疎化が進む生まれ育った集落にあかりを灯そうと「山尻シェアハウスChikara」を開業し、島外から訪れた人の住まいや仕事探しのサポートをしています。また、ゲストハウス「木江宿 庭火」の運営やサイクリングを使った着地型観光イベントの開催など、地域の方々と来訪者が自然体で関係を築ける場づくりに取り組んでいます。

#### 【主な取組】

- 「山尻シェアハウスChikara」やゲストハウス「木江宿 庭火」の運営を通じた移住希望者の住まいや仕事探しのサポート
- 大崎上島HAPPYライドの企画・運営 など



Point !

「木江宿 庭火」は、かつて宿場町として栄えた木江地区に再びあかりが灯る起点となることを願って始めたゲストハウスです。島暮らしや2拠点居住など新たな暮らしを希望する方に、住まいの紹介や起業などをサポートしています。

## 広島市 で活躍しています！

### 湯来温泉街のシンボル「露天風呂」を復活 《佐藤 亮太さん》

湯来町のNPO法人湯来観光地域づくり公社で湯来交流体験センターを拠点に、シャワークライミングなどのアドベンチャーツーリズム、農業体験、特産品の販売など、さまざまな活動を行っています。

また、かつて「広島奥座敷」として栄えた湯来温泉街のシンボル、「湯元」露天風呂の復活にも取り組み、地域が持つ資源を最大限に生かし、地域が盛り上がるよう活動しています。

#### 【主な取組】

- 湯来交流体験センターの運営
- 特産品の開発・販売
- アドベンチャーツーリズムや体験プログラムの企画・運営
- 湯来温泉 湯元貸切露天風呂「誠の檜湯」の運営 など
- アドベンチャーツーリズムのガイド



Point !

湯来温泉街の活気を取り戻し、次世代に名を継承したいという思いから、「湯来温泉 湯元露天風呂 復活プロジェクト」を立ち上げ、地域の方と協力しながら進めてきました。「湯元」露天風呂を通じて、多くの方に湯来町の良質な湯と自然の豊かさを知っていただきたいです。

## 呉市 で活躍しています！

### 祖先の想いを受け継ぎ、未来へ地域を繋ぐ 《教田 祐一さん》

音戸町にある明治15(1882)年創業の呉服屋に生まれ、5代目として家業を継ぎました。受け継いだ古商屋をカフェ&ギャラリー「天仁庵」に、向かいの古民家を手作りケーキと洋菓子の「天仁庵 Diminish」にリノベーションし、沢山の方に訪れて頂いています。

また、地縁を活かして、音戸に住みたいと思ってくれる人に、空き家などの活動拠点や住む場所の紹介、地域の人とのつながりづくりのサポートなども行っています。

#### 【主な取組】

- 「天仁庵」「天仁庵Diminish」の運営
- 地域内外の方の交流イベントやワークショップ
- 地域の特産品開発



Point !

「天仁庵(てんじんあん)」は、カフェやギャラリーのほか、ワークショップやイベントなど地域内外の人が集まる場にもなっています。音戸の未来を創っていくために、「音戸の瀬戸」を拠点に様々な交流が生まれる場所になってくれればと思っています。



**呉市** で活躍しています！

## 安芸灘とびしま海道 × アウトドアコンテンツ 《高島 俊思さん》

地域おこし協力隊として下蒲刈島に移住し、「安芸灘とびしま海道」の山や海の美景や地域独特ののどかさに「アウトドアコンテンツ」を掛け合わせた様々な取組を行っています。とびしま海道初のレンタサイクル事業の立ち上げから運営に携わり、「とびしまウルトラマラニック」という島々を巡る100kmマラソンを開催するなど、とびしま海道の観光振興につながる活動を行っています。

### 【主な取組】

- ・ コテージ梶ヶ浜におけるレンタサイクル事業や魅力化
- ・ 外国人サイクリストの誘致
- ・ とびしま海道でのマラソンイベントの運営



**Point !**

「とびしまウルトラマラニック」は、平成30年7月豪雨から半年後の開催でしたが、今だからこそやるべきという想いのなか、地域の方のボランティアなど多くの協力を得て開催しました。とびしま海道を象徴する定期イベントとなるよう、今後も継続して開催していきたいと思えます。

**県内全域** で活躍しています！

## ソーシャルライドでつなぐ里山ネットワーク 《堀 啓二さん》

自転車だから出会える景色。そんな一瞬の奇跡と人との出会いを求めて、自転車で里山里海をくまなく巡っています。地元の方との何気ない会話やハッとする景色が目飛び込むあの瞬間が好きで、数々の隠れた名所を紹介するルートづくりも行っていきます。迷い道を尋ねることも、立派な「地域とのコミュニケーション」につながっています。自転車を通して、里山でたくさん新しい出会いの輪を広げたいと思っています。

### 【主な取組】

- ・ 一般社団法人RIDEを通じたサイクリングの普及・振興と地域活性化
- ・ 広島県サイクリング協会にて自転車に関する環境の調査研究 など



**Point !**

平成29(2017)年に開催された「さとやま未来博」では、さとやまソーシャルライドを監修し、参加された方々と里山の意外な穴場をつなぐお手伝いをさせていただきました。木々が芽吹く春の里山や野焼きの煙が目染みる秋の里山を、心弾みながら駆け抜けた思い出は貴重な財産です。

## 庄原市 で活躍しています！

### 魅力的な建物を活かして地域を活性化 《榎原 節男さん》

東城町で、一級建築士として地元木材を活用した家づくりの傍ら、平成3(1991)年に、まちづくりグループ東新会を立ち上げました。

東新会では、町並みの景観の維持と保存を目的に、様々な活動を行っています。その一つに、町内の空き施設の活用として、地域住民やサポーターのみなさんと、「ヤマモトロックマシン自治寮活用プロジェクト」に取り組んでいます。

#### 【主な取組】

- 「ヤマモトロックマシン旧自治寮」の活用に向けた取組
- 地域資源を活用したものづくりワークショップ
- 多様性を受け入れるコミュニティづくり



Point !

昭和初期に建てられた「ヤマモトロックマシン旧自治寮」の保存のため、平成30(2018)年にクラウドファンディングを活用して資金を集め修繕を行いました。修繕体験会を実施したり、地域内外の方の交流イベントを実施するなど、多様な活用を図っています。

## 江田島市 で活躍しています！

### 江田島で歴史を刻む洋館「海友舎」を交流拠点に 《南川 智子さん》

神戸で建築デザインの勉強をした後、平成24(2012)年に江田島で「海友舎」と出会い、仲間とともに建物の管理運営を担う「ぐるぐる海友舎プロジェクト」を発足しました。海友舎は、明治40(1907)年に、海軍下士卒集会所として建てられ、戦後は会社事務所として使われました。現在、建物を活用した地域内外の交流拠点づくりに取り組んでいます。

#### 【主な取組】

- 「ぐるぐる海友舎プロジェクト」の運営  
〔歴史的建造物の維持管理、建築歴史調査〕  
イベントの企画・開催、交流促進 など



Point !

「ぐるぐる、こつこつ、わくわく」を合言葉に、建物や歴史、島の暮らしなど、さまざまな興味を持つ仲間とともに、毎月1回、海友舎の清掃をしています。歴史を刻む洋館を活用して、地域内外から集う仲間との緩やかなつながりづくりを進めています。

## 大崎上島町 で活躍しています！

### 子どもたちの未来を拓き、島の未来を拓く 《取釜 宏行さん》

県立大崎海星高校の高校魅力化プロジェクトのコーディネーターや私塾を営みながら、教育という観点から地域の担い手育成に取り組んでいます。島の自然や文化、地域の人など「島の資源」を生かした教育を実践することで、子どもたちの「生き抜く力」を育み、将来は島を担う人材になってほしいと思っています。

#### 【主な取組】

- 広島県立大崎海星高校の魅力化（大崎上島学、公営塾「神峰学舎」など）
- 私塾の運営（地域連携型キャリア教育「島キャリア」の実践 など）



Point !

私塾では、「島キャリア」と名付けた独自の地域連携型キャリア教育を行っています。中学生を中心に、島の自然や文化を学び、時には海外への研修旅行などを通じて、子どもたちに挑戦し続ける大切さを学んでもらっています。

## 神石高原町 で活躍しています！

### 油木高校魅力化＋プロジェクト 《青木 一麦さん》

「油木高校魅力化＋プロジェクト」の推進を地域おこし協力隊として行っています。町内唯一の県立高校と地域をつなぐコーディネーターとして、地域資源を生かした教育活動に取り組んでいます。

田舎だからこそ、地域の人との距離が近い。小規模校だからこそ、生徒との距離が近い。この贅沢さを噛み締める毎日です。

#### 【主な取組】

- 授業「総合的な探究の時間」
- 放課後の探究学習「神ゼミ」
- 高校生への推薦指導
- カリキュラム改革のサポート



Point !

「神ゼミ」では“動画クラブ”の活動を行っています。映像制作を通じた学びの実践です。高校生と地域のクリエイターを繋ぎ、ミュージックビデオを制作。YouTubeで約3万回再生されています。



## 関係人口から広がる「つながいの輪」と「地域の可能性」

広島県では平成27(2015)年から「ひろしま里山ウェーブ」を通じて関係人口創出に取り組んでいます。この事業では、地域貢献意欲の高い首都圏の人材を呼び込み、《人》のつながりを軸に、地域の課題解決に向けたプランの実践や地域とのパートナーシップづくりを支援しています。

事業を通じて様々な人のつながりが生まれ、首都圏と中山間地域を行き来しながら地域で活躍する人、首都圏で広島の中山間地域に関わるイベントをしてくれる人、そして、大好きな広島の里山に移住した人など、多様な形で広島と関わる人が増えています。

※「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指します。  
(出典：総務省 関係人口ポータルサイト)

### 【参加者の声】

- 「知る」「学ぶ」「体験する」「つながる」が盛りだくさんの、濃い経験をする事ができました。
- 訪問した地域が、自分にとって、親戚が住んでいるふるさとのような心温まる「まち」になりました。
- 地域の方との多くのご縁をいただいたので、恩返しとしてこれからも継続して関わっていきたいです。

### 【地域の声】

- 地域のために何かしたいと思ってくれる人がいるということにとっても感銘を受けました。
- 地域外から関わってくれる人が増えるにつれ、地域の可能性を感じられるようになりました。
- 参加者と連携し、取組が少しずつ形になることで地域が盛り上がりつつあることを実感しています。



地域での現地実習



地域での現地実習



最終プラン発表会



最終プラン発表会

## 府中市 に移住しました！

### 人形作りに想いを込め、地域の魅力・文化を発信 《有光 梨紗さん》

東京で精神保健福祉士として働いていましたが、故郷の広島県にも心の病を抱えた方やその家族の居場所を作りたいという想いから、上下町にUターンしました。その想いをまず形にしたのが、「みにみつこちゃん人形」です。現在、制作と販売の両方を行っています。また、上下の米粉を使った焼き菓子などの特産品開発、お惣菜調理や家政婦など地域に根差した幅広い取組を行っています。

#### 【主な取組】

- ・ 「みにみつこちゃん人形」の制作
- ・ 上下の米粉を使った焼き菓子の製造
- ・ お惣菜の調理・提供
- ・ 家政婦として家のお困りごとの解決
- ・ フリーペーパー「びろしま通信」の発行



Point!

「みにみつこちゃん人形」は、郷土人形である「上下人形」の存在をきっかけに、日本と世界の郷土人形から着想を得てオリジナルで開発したものです。人形が、手に取った人の心に寄り添い、ほっとできる存在になればと、一つ一つ手作業で心を込めて作っています。

## 安芸高田市 に移住しました！

### 農ある暮らしの実践と発信 《沖田 政幸さん》

広島市出身。岡山県美作市で棚田再生プロジェクトに携わった後に、母の実家がある縁で、平成29(2017)年に地域おこし協力隊として美土里町に孫ターンしました。

協力隊の任期中に、民泊スタイルのゲストハウス「アオノイエ」を開業し、現在は、観光協会職員・農業・地域の特産品製造団体代表など複業しながら、家族中心の「ほしい暮らし」を実践中です。

#### 【主な取組】

- ・ ゲストハウス「アオノイエ」の運営
- ・ 観光情報の発信・PR
- ・ 特産品の開発・製造・販売



Point!

築130年の実家の古民家をDIYリノベーションして整備した「アオノイエ」は、“青”という所在地の集落名に、「ノイエ」というドイツ語の“新しい”を掛け合わせた言葉になります。お客様には、ここでしかできない新たな体験を提供しています。



## 安芸高田市 に移住しました！

### 関わる人たちを笑顔にする観光サービスを 《中溝 国久さん》

福岡県出身。宗像市でホテルマンとしてキャリアを積んだ後、平成27(2015)年に地域おこし協力隊として安芸高田市にターン。観光情報の発信やイベント企画に3年間携わりました。

現在は、同市観光協会の職員として、毛利元就が生涯住み続けた居城「郡山城」の史跡を巡るガイドや市の様々な観光プロモーションを手掛けています。

#### 【主な取組】

- 観光情報の発信
- イベント企画・運営
- 郡山城跡の観光ガイド など



Point !

観光協会では、お客様に安芸高田市の魅力をより深く、より楽しく伝えるため、「どうしたら面白くなるか、どうしたらお客様を笑顔に出来るか」を常に考え、顧客目線の観光サービスの提供を第一に、日々取り組んでいます。

## 江田島市 に移住しました！

### 地域をつなぎ、笑顔と幸せを届けるパン職人 《西村 京子さん》

山口県出身。広島市内の民間企業で働いた後、自然豊かな島でパン屋をしたいという想いが募り、平成28(2016)年に江田島市に移住しました。

ここでは、地域おこし協力隊として、江田島のオーリーブを内外に発信するお手伝いをし、卒業後に念願のパン屋「しまのぱん souda！」を開業しました。お世話になった島の皆さんへの恩返しとして、パンを通じて笑顔と幸せを届けたいと思っています。

#### 【主な取組】

- しまのぱん souda！の運営  
(パンの製造・販売、カフェの運営)
- オーリーブやパンに関するワークショップの開催  
(オーリーブ冠作りやパン作り教室 など)



Point !

「しまのぱん souda！」は、恵み多き自然豊かな江田島の「空」、「海」、「大地」から名付けました。彩りには地域の食材を、薪には伐採木を使うことで、島の農家と人々をつなぎ、資源を循環できればと思っています。そして、誰かが笑顔になれるパンを届けたいと思います。

## 安芸太田町 に移住しました！

### 生産者に寄り添った地域産品の流通・販売促進 《志賀 俊介さん》

広島市出身。スポーツ用品関連企業で全国を飛び回っていましたが、平成28(2016)年に子どもが生まれたことを機に、都市部に近く、田舎暮らしも満喫できる安芸太田町に移住しました。

現在は「地域商社あきおおた」の職員として、道の駅「来夢とごうち」の売店や「太田川産直市」の運営に携わり、地域産品の流通・販売促進、商品開発などを通じた生産者支援に取り組んでいます。

#### 【主な取組】

- 道の駅「来夢とごうち」の売店運営
- 「太田川産直市」の管理・運営
- 地域産品の流通・販売促進、商品開発



Point!

地域には高齢の農家さんが多く、生産・出荷体制も様々なため、一人一人の農家さんにしっかりと寄り添うことを大切にしています。そうすることで初めて見えてくる課題や可能性に対して、一緒に向き合い、サポートしていくことが充実した田舎ライフにもつながっています。

## 大崎上島町 に移住しました！

### 関係人口からの移住という選択 《反岡 和宏さん》

首都圏で働いていたところ、平成27(2015)年に広島県の関係人口創出事業「ひろしま里山ウェーブ」に参加し、大崎上島町に訪れたことがきっかけで、広島市にUターン。その後、大崎上島町に足繁く通い、ついに平成30(2018)年に大崎上島町に移住しました。現在は、同町の観光協会事務局長を務めながら、フォトグラファーとしても活動しています。

#### 【主な取組】

- 大崎上島町観光協会の運営
- フォトグラファーとして写真による島の魅力発信・PR



Point!

白水港からほど近い場所に観光協会が運営する観光案内所があります。私を含めてスタッフ全員移住者ということもあり、島民と移住者を繋ぐ場所にもなっています。また、案内所内にはカフェも併設されており、島を訪れた人と地域の方々の交流の場にもなっています。

## 呉市 に移住しました！

### 島暮らし体験をきっかけに移住の後押しを 《角幡 彩さん》

北海道出身。札幌でシェアハウスの運営を経験後上京し、平成29(2017)年に広島県の「ひろしま里山ウェーブ」に参加しました。訪問先の下蒲刈島に魅力を感じ、翌年地域おこし協力隊として1ター。令和2(2020)年に移住体験シェアハウス「Be a Family」をオープンし、島暮らしならではの体験を提供しています。また、イベントを通じた地域活性化にも取り組んでおり、地域内交流の推進や地域の情報発信をしています。

#### 【主な取組】

- ・ 移住体験シェアハウスの運営
- ・ 地域おこし協力隊としての地域のPRや地域行事、コミュニティ活動等の支援活動



Point !

島の方のあたたかさに触れる中で、まるで家族の一員になったような気持ちになり、シェアハウスは「Be a Family」と名付けました。思いやりとおもてなしの心に溢れたこの島のファンを増やしなが、入居者の移住の後押しをしたいと考えています。

## 呉市 に移住しました！

### 地域の「特産」と「想い」を受け継ぐ 《狩野 望さん》

北海道出身。妻の「田舎で農業をやりたい」という夢を叶えるため、平成29(2017)年に倉橋町に地域おこし協力隊として移住しました。

新たな観光名所として「長串みはらしの森のトレッキングコース」を整備したり、平成30年7月豪雨災害の時には災害ボランティアセンター「くらはしサテライト」の設立に携わりました。現在は家族で特産の「石地みかん」の栽培・販売を行っています。

#### 【主な取組】

- ・ ブランドみかん「こだわりいじ」を始めとした柑橘栽培・販売
- ・ 「倉橋交流拠点構想推進協議会」を通じた倉橋地域の賑わいづくり
- ・ 「くらはし観光ボランティアガイドの会」を通じた倉橋地域のガイド など



Point !

「石地みかん」の柑橘畑は、地域の柑橘農家から受け継いだものです。先代の農家さんの想いが詰まった柑橘畑を受け継ぐ責任を日々感じながら、自分もこの柑橘畑を次世代につないでいこうと思っています。



## 呉市 に移住しました！

### 心地よい暮らしの始め方を学べる学校づくり 《中村 功芳さん》

まちづくりの《ストーリーメーカー》として全国で仕事をしていた時に、広島県が主催する「里山ウェブ」という事業にメンターとして参画することになり、「音戸」のまちと出会って、心地よい暮らしを実践する人たちとつながり、島の暮らしに惹かれて移住しました。

ここで誰もが英気を養いつつ、将来に向けて新しい暮らしを始めていくことができる、そんなユニバーサルな《学び舎》を創るプロジェクトを進めています。

#### 【主な取組】

- ゲストハウス開業合宿
- 瀬戸内の暮らしオンライン体験会
- 瀬戸内の島の移住交流拠点づくり



Point !

瀬戸内の心地よい暮らしを体験してもらうため、音戸で2軒の空き家を購入。パリのモンマルトルの丘にたくさんの芸術家が集まったように、この場所を全国から芸術家やチャレンジャーが集う最高の居場所にしたと思います。

## 三原市 に移住しました！

### 「田舎×IT」で人を呼び込み地域を元気に！ 《篠崎 初光さん》

静岡県出身。大阪府で民間企業に勤めた後、久井町へターンし、古民家を整備してIT技術者が集う「ギークハウス広島」を開きました。

「田舎×IT」をキーワードに、田舎暮らしに憧れる都会のクリエイターが田舎生活を始めるお手伝いをしています。また、地域のシニアの方が、日常生活に役立つインターネットの使い方を身に付けるサポートも行っています。

#### 【主な取組】

- 「ギークハウス広島」の管理・運営
- シニア世代向けのITサポート「パソコンサルあまてる」の運営
- 地域や田舎生活の情報発信



Point !

プログラミング等のIT技術に長けた「ギーク」たちが集うシェアハウスを通して、起業を目指す若者のUITターンを後押しし、その技術や知恵を生かしながら、地域を元気にしていけたらと思っています。



## 福山市 に移住しました！

### “地域とのつながり”が移住のきっかけ 《中尾 圭さん》

千葉県出身。大阪のまちづくり会社に勤めている時に「瀬戸内しまのわ2014」に携わり、地域とのつながりができたことがきっかけで、平成28(2016)年に内海町に移住しました。「港の編集室」を立ち上げ、地域の魅力を集めた島のガイドブック「内海手帖」の制作やSNSによる情報発信「うつみ海苔の学校」などを行っています。

また、「Utsumi Fishermans Fest」という漁師と地域外の人をつなぐイベントにも携わっています。

#### 【主な取組】

- 「港の編集室」の運営  
(グラフィックデザイン, 写真撮影, 動画制作, SNS発信 など)
- 移住定住相談



Point!

「港の編集室」は、デザインや編集などのスキルを活用して、地域の人の想いやアイデアを形にする企画・編集チームです。人や物が行き来する港のように、出会った人や物をつなぎ、住んでいる人が楽しく幸せに暮らしていくお手伝いをしたいと思っています。

## 廿日市市 に移住しました！

### 特産品開発で地域を元気に！ 《則武 宏承さん》

兵庫県出身。平成27(2015)年に自分のスキルを活かそうと、吉和にあるレジャー観光施設「魅惑の里」への転職を機に移住しました。

吉和地域を元気にしていこうと「吉和げんき村」の一員となり、お年寄りから若者まで、世代を超えてみんなが楽しく住み続けられる地域づくりに取り組んでいます。主な活動として、地域イベントの開催やルバーブを使って開発したソースやジャムの販売を行っています。

#### 【主な取組】

- 吉和ルバーブの商品開発
- 特産品「山葵」の6次産業化
- 地域イベントの企画, お手伝い



Point!

吉和では「ルバーブ」という野菜を特産品として生産しています。ルバーブを育てる吉和のおばあちゃんたちの愛情を多くの人に届けるため、ソースやジャムなどの開発・販売を手掛け、少しずつ「吉和＝ルバーブ」の認知が広がってきています。

## 安芸高田市 に通っています！

### 菜園&山里文庫に囲まれた2軒目の暮らし 《畝崎 辰登さん》

里山と街なかの2拠点を行き来しながら、自分のペースで耕作放棄地を起耕し、安心して食べることができる100種類の野菜や果物づくりを進めています。コツコツと3年。雑木林と寄り添う里山暮らしを通じて菜園と雑木林との距離が少しずつ近づいてきました。風と土と光と山霧の恵みに季節の移ろいを感じながら、ゆっくりとした生活のリズムが体に馴染んでいく2軒目のある暮らし。どうしても手元に置いておきたい本だけを残した《山里文庫》が、過去と未来をつなぐ拠り処として機能しています。

#### 【主な取組】

- 畝崎ファームを軸とした2拠点生活の実践
- 菜園&山里文庫を通じた交流の場の提供



Point!

菜園のコンセプトは《キッチンガーデン》。私がスコップ一本で起耕したなだらかな傾斜地には、少量・多品種の野菜が自由放任主義で育ち、周辺には果樹、キノコ、山菜。ここに虫や鳥も。この菜園は里山の生物の命も支えています。

## 呉市 に通っています！

### 中山間地域と首都圏での2拠点生活を実現 《此松 武彦さん》

東京都内でシェアハウスを運営する傍ら、瀬戸内を望む音戸に二つ目の拠点となる古民家の宿を開業し、東京と音戸をつなぐ2拠点ライフを始めています。きっかけは、平成30(2018)年に広島県が主催する「ひろしま里山ウェブ」に参加し、音戸を訪れたことでした。狭い海峡を行き交う、日本一距離の短い渡船や暮らしが垣間見える路地裏、地元の人たちの気さくな人柄や遅しさに触れ、古民家購入を決意しました。訪れた方が、この何気ない日常を体験できる、入り口のような「場」を提供したいと思っています。

#### 【主な取組】

- 古民家宿「音戸イロリバ HOUSE」の運営
- 音戸や近隣のローカル体験の開発 など



Point!

囲炉裏を囲むように、音戸を訪れた人たちの心が向き合える場所にしたいという想いを込め、宿の名前は「音戸イロリバ HOUSE」にしました。泊まるだけでなく、ローカル体験も一緒に楽しむことができる空間にしていきたいと思っています。